

第5次総合振興計画事務事業評価シート(様式1)

提出日 R5.6.23

担当 課名 防災地域支援課

グループ名 防災地域支援グループ

記入者名

1 事業概要							
(1)事業名	防犯・暴力排除推進事業費		(2)事業種別 (新規・継続)	継続	(3)事業性格 (政策・一般)	一般事業	
(4)第5次総振での位置づけ	(5)予算・財源等の別						
①基本目標	安全で住みよいまち(都市基盤の充実)		①会計区分	一般会計			
②大項目	交通安全・防犯		②財源区分	町単独			
③中項目	安全・安心なまちづくり		③予算科目	款	2 項	1 目	9
④施策	広報活動の充実/防犯対策の強化他						
⑤施策コード	3・7・2・0	掲載ページ	62	ページ			
(6)実施根拠			(7)総合戦略				
①事務分類(自治・受託)	自治事務		①総合戦略				
②根拠法令	小川町防犯の推進に関する条例		(該当事業名)				
③事業期間	開始	不明	年	月	から		
	終了	未定	年	月	まで		
2 事業の目的・対象及び内容							
(1)目的(何のために行うか)			(3)手段(内容・どのような取り組みか)				
ボランティアや職員等による防犯パトロール等を行うことで、子どもを狙った犯罪及び空き巣等の犯罪を起こさせにくい地域環境づくりを推進し、安全・安心な地域社会を確立させるため。			防災無線や広報・回覧等による、各種犯罪手口の周知活動の実施。 各行政区や地域ボランティア団体、個人ボランティア等のウルトラ防犯パトロール隊員によるパトロールや町職員による青色回転灯パトロールの実施。 学校やPTAと連携した「こどもあんしん110番の家」の設置。				
(2)対象(誰に対して、何に対して行うか)			(4)成果イメージ(どのような状態になることを目指すか)				
町民及び小川警察署管内住民			防犯のまちづくりの普及、啓発を推進し、住民の高い防犯意識により、安全・安心なまち、住みよい地域環境が形成される。				
対象数	全町民	単位	人				
(5)事業を取り巻く環境(社会環境、町民ニーズ等)、団体、議会等からの要望など							
近年、新たな犯罪手口が発生しており、警察署員のみでは犯罪発生を食い止めるには限界がある。自分の身は自分で守る為に、犯罪の注意喚起や犯罪を起こさせにくい環境づくりを町や地域も進める取り組みが求められている。 また、埼玉県では防犯環境の促進の為に防犯環境整備補助金の交付要件として、防犯カメラ又は特殊詐欺対策機器の設置が要件となっている。							
(6)SDGsへの貢献							
  							
3 事業のコスト(実績・予算・決算) (単位:千円)							
項目	(1)事業(内容)名称	防犯・暴力排除推進事業費					
	決算・予算年度	R元年度決算	R2年度決算	R3年度決算	R4年度決算	R5年度予算	
(2)事業費内訳	需用費	530	541	259	305	323	
	役務費	278	305	275	280	287	
	負担金補助及び交付金	779	487	531	779	779	
	公課費	0	15	0	15	0	
	その他	0	0	0	0	0	
	直接事業費合計	1,587	1,348	1,065	1,379	1,389	
(3)財源内訳	国庫支出金	0	0	0	0	0	
	県支出金	100	71	0	0	0	
	地方債	0	0	0	0	0	
	その他特定財源	0	0	0	0	0	
	一般財源	1,487	1,277	1,065	1,379	1,389	
合計	1,587	1,348	1,065	1,379	1,389		
(4)補助金名	防犯環境整備推進補助金						
(5)人件費							
投入職員数	0.40	0.40	0.40	0.40	0.40		
年間人件費	3,086	3,056	3,051	3,017	3,079		
(6)総事業費	4,673	4,404	4,116	4,396	4,468		
サービス量(人)	29,471	28,886	28,494	28,046	28,046		
サービス単価	0.16	0.15	0.14	0.16	0.16		
(単位)	千円/町民1人あたり						

4 指標の検証(活動指標・成果指標)		防犯・暴力排除推進事業費				
指標名		単位	R3年度決算	R4年度決算	R5年度予算積算	
(1)活動指標(実施した事業の量:回数、延長、面積等)						
指標名	地域安全推進大会開催回数	目標値	回	1	1	1
		実績値	回	0	0	
		達成率	%	0.0	0.0	
	こどもあんしん110番の家登録件数	目標値	件	600	600	600
		実績値	件	537	537	
		達成率	%	89.5	89.5	
(2)成果指標(実施した結果として得られた成果の量と達成度:人数、世帯数、件数、団体数、コスト指標等)						
指標名	ウルトラ防犯パトロール隊数 (総振目標指標p62) R7年度目標値 43団体	目標値	団体	42	42	42
		実績値	団体	40	39	
		達成率	%	95.2	92.9	
	目標値					
	実績値					
達成率						
(3)その他指標に現れない成果						
ウルトラ防犯パトロール隊や青色回転灯パトロール車による見守り活動を行うことで、犯罪の抑止力になり犯罪を起こさすにいい環境づくりができています。新型コロナウイルス感染拡大の影響により地域安全推進大会を中止したが、自主防犯活動団体功労者の表彰などをおし活動意欲の向上を図った。						
5 事業評価						
(1)項目別評価						
評価項目		評価	評価理由	評価した理由を選択してください。		
必要性	事業の必要性	1 1 必要性は高い 2 どちらともいえない 3 必要性が低い	2	1 事業の実施が関係法令等で定められている 2 住民や団体など外部から要望・要請が多い事業である 3 その他()		
妥当性	実施主体の妥当性	1 1 妥当である 2 どちらともいえない 3 妥当性が低い	2	1 事業の主体が関係法令等で定められている 2 民間では事業を行ってならず、行政が主体となるべき事業である 3 その他()		
	手段の妥当性	1 1 妥当である 2 どちらともいえない 3 妥当性が低い	1	1 事業を行うのに民間活力(企業、NPO、ボランティアなど)を活用している 2 他に有効な代替手段が見当たらない 3 その他()		
効率性	コスト効率性 人員の効率性	1 1 効率的である 2 どちらともいえない 3 効率性が低い	3	1 サービス単価は減少している 2 サービス単価を維持している 3 その他(ウルトラ防犯パトロール隊及びこどもあんしん110番の家はボランティアで実施しており、人件費を抑えることができています。)		
公平性	受益者の偏り	1 1 偏りはない 2 どちらともいえない 3 偏りがある	1	1 公平に分配されている 2 おおむね公平に分配されている 3 その他()		
有効性	成果の向上	2 1 成果が上がっている 2 どちらともいえない 3 成果が下がっている	3	1 成果指標は、目標値より実績値が上回っている 2 成果指標は、前年度より向上している 3 その他(コロナ禍の影響を受けたため。)		
進捗度	事業の進捗	2 1 順調に進んでいる 2 概ね順調である 3 あまり順調に進んでいない	3	1 年度内に予定した事業は完了した 2 年度内に予定した事業の8割以上は完了した 3 その他(新型コロナウイルス感染拡大に配慮しつつ各地区や町職員による防犯パトロールを実施した。)		
(2)総合評価(上記結果を踏まえて、問題点や課題を記載してください。)						
<ul style="list-style-type: none"> ・小川町においては、特殊詐欺や空き家を狙った犯罪が増えているため、警察との情報共有を徹底し犯罪を未然に防ぐよう防災行政無線などによる町民への周知を行う。 ・活動協力者の高齢化が進み新たな協力者の確保が課題となっている。 						
6 事業の方向性の判断		1 拡充 2 現状維持 3 縮小・統廃合				
評価主体	(1)一次評価 (担当課長)	(2)二次評価 (政策推進課長)	(3)最終評価 (町長)			
評価	2					
説明	ウルトラ防犯パトロール隊員とこどもあんしん110番の家の協力者を増やすことにより抑止力の強化につなげていきたい。					